

○第86回遺伝子組換え食品等専門調査会（非公開）

日時：平成22年11月16日（火）14：00～17：30

議事概要：

（1）食品健康影響評価について意見を求められた遺伝子組換え食品等の安全性評価について

1）チョウ目害虫抵抗性ダイズMON87701系統（食品・飼料）

・審議の結果、評価書（案）を食品安全委員会に報告することとなった。

*チョウ目害虫に対して抵抗性を持つダイズです。

2）チョウ目害虫抵抗性ワタCOT67B系統（食品・飼料）

・継続審議となった。

*チョウ目害虫に対し抵抗性を持つワタです。

3）チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシBt11系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシB.t.Cry34/35Ab1Event DAS-59122-7系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統とチョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ1507系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシGA21系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した8品種を除く。）

・審議の結果、一部修正の上、評価書（案）を食品安全委員会に報告することとなった。

*安全性評価が終了しているトウモロコシ5品種を交配によって掛け合わせた品種ですが、収穫される種子は1粒ごとに形質が異なります。したがって、すべての掛け合わせ品種のうち、安全性評価が終了している品種を除く品種が評価の対象となります。

4）BR151（pUAQ2）株を利用して生産された6- α -グルカノトランスフェラーゼ

・継続審議となった。

*デンプンから糖質を生産するために使用される食品添加物です。